

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	栃木市総合運動公園
	所 在 地	栃木県栃木市川原田町760番地
	施設内容	公園と運動施設
指定管理者	名 称	(株) メディカルフィットネスとちの木
	所 在 地	栃木県栃木市野中町553番地
	主な業務内容	栃木市総合運動公園の管理・運営業務

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	管理運営理念等の講習			年4回実施		年4回実施	
	利用者アンケート集計数			300枚		461枚	
	苦情や意見の反映率			75%		75%	
	利用者満足度			94.0%		94.3%	
	行事予定などの広報誌発行			年12回		年12回	
	日程調整会議回数及び日程調整率			年1回・90%		年1回・100%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	①職員に対し、施設の設置目的や仕様書・事業計画に基づいた運営方針を説明し、職員はこの内容を共通理解のもとPASSの理念を徹底し、管理運営を行いました。						
	②当施設が公の施設であることを常に念頭に置き、特定の個人及び団体等を優先させたり、正当な理由なく市民の施設利用を拒むことの無いよう徹底し、市民が気持ちよく利用できる管理運営に努めました。 また、接遇・個人情報管理・施設管理などの社内研修及び、外部研修も行い、来園された利用者に親切丁寧で適切な対応を行うためのスキルアップに努めました。						
	③各施設に常設しているご意見箱、利用者との会話・アンケート調査などさまざまな方法で、利用者や地域住民の意向・要望及び提案などを把握できるよう努めました。 また、利用者からの意見は様々ありますが、一部の意見だけを尊重するのではなく、利用者全体の公平性を保つため、要望などは記録・保存し、分析を行い、効果があり改善が必要なものは管理運営に反映させ、利用者に安心・安全・快適に利用していただけるよう努めました。						
	④利用者から頂いたご意見・苦情等を業務改善につながる貴重な情報として真摯に受け止め、内容を精査・分析し、職員全員が一環した内容の発信と誠実に平等と公平、公正な対応を心掛け、問題解決に努めました。 ただし、指定管理者だけで対応できない場合や、問題の長期化・拡大化の可能性がある場合は、市所管課や関係機関と連携、調整を図り早期解決に努めました。						
施設所管課コメント	アンケートによりニーズの把握に努め、課題解決を図った。 誰もが平等に利用できる開けた公園づくりを行い、公共施設としての役割を果たした。 以上の理由からこの評価とした。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	公園施設利用者数			390,000人	369,980人	
	HP更新・運動公園だより発行			年12回更新・年4回発行	年36回更新・年4回発行	
	オンライン動画及びSNS情報発信回数			年12回	年50回	
	自主事業参加者数			75,000人	59,983人	
	協働事業実施数			年2回実施	年8回実施	
	時間外開館・閉館対応率			100%	100%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	①施設の管理運営については、条例及び計画に基づき開館し、施設環境を良好に保ち、通常営業はもとより、大会やイベント等は事前に主催者と営業時間前の開場などについて綿密な打合わせを行い、利用者が快適に利用できるよう円滑な運営に努めましたが、公園施設利用者数は14,556人減（前年比3.8%減）となりました。主な要因としては、大会等の主催者が夏季の猛暑に伴う熱中症リスクを考慮したことによるキャンセルが続出したためかと思われます。 また、混雑時にバス専用駐車場の確保や、多目的グラウンドを臨時駐車場として開放することにより、駐車場の混雑緩和と安全確保に努め、利用者が快適に利用できるよう円滑な運営に努めました。					
	②ホームページの適時更新とSNS（栃木市総合運動公園公式InstagramやLINE）や総合体育館に設置したデジタルサイネージを多く活用し、運動公園を利用している方はもちろん、利用されていない方々にも日々変わりゆく景色やイベント、各種大会等の行事予定及び自主事業についての情報を発信しました。 また、市内の市有施設や店舗にチラシやパンフレットなどを配布し、更なる新規利用者の獲得に取組みました。					
	③常に情報を収集して市民の健康づくりやニーズにお応えできるための事業を展開できるよう努め、「運動公園だより」を定期的（年4回）に発行し、新規利用者獲得に努めました。 また、大変好評を得ているラジオ体操の定時放送を実施し、屋外で気軽に運動できる環境をつくり、新規利用者の獲得に取り組めました。					
	④栃木市主催の「健康づくり教室」、市内の中学生や高校生における「職場体験学習」、市民のボランティア活動の受け入れや、栃木ゴールデンブレースなどのプロスポーツ団体、市や県の主催する事業の利用に際し、施設環境整備と利用支援や大会開催協力を積極的に行いました。 また、ミラノ・コルティナオリンピックスピードスケートタスクフォースの一員で、コンディショニングコーチ兼トレーナーとして帯同していたスポーツドクターが、地元中学校女子ハンドボール部の生徒に正しいストレッチや体の動かし方を伝える講座を実施しました。 シュートフォーム改善につながる上半身の動きの確認や、重心移動の大切さを伝え、参加した生徒たちからは、新たな発見があったと反響がありました。					
施設所管課コメント	・公園施設利用者数が、計画値に対し実績値が下回っていた。さらに、令和6年度の実績値の384,536人よりも下回っていた。 ・自主事業参加者数が、計画値に対し実績値が下回っていた。さらに、令和6年度の実績値の61,948人よりも下回っていた。 ・HP更新・運動公園だより発行やオンライン動画及びSNS情報発信回数、協働事業実施数は計画値より実績値が上回っているため、この評価とした。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	節電にかかわる設備・備品更新件数			5 件	8 件	
	本社及び税理士チェック回数			年 4 回	年 1 6 回	
	施設・設備等点検回数			年 2 5 回	年 2 8 回	
	業務委託見積合わせ件数			1 2 件	1 4 件	
評価	配点	第 1 次評価（指定管理者評価）			第 2 次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅱ	0.8	12	I	1.0
指定管理者コメント	①収支手続きについては、経理責任者と出納担当者など複数名のチェック体制で、税理士指導のもと適正に実施し、四半期ごとに財務委員会を開催することで、収支手続きが適正に行われているかを検証し、改善できるところは迅速に対応しました。					
	②近年高騰を見せる水光熱費については、電力使用量超過警告システムを導入し、全職員の節電や経費削減の意識を高めつつ、過度な節電によるサービス低下を防ぎながら、企業全体で経費削減に努めました。 また、芝生管理業務について、従来は乗用芝刈り機や手押し芝刈り機等で定期的に作業をしていましたが、ドローン芝刈り機の自動運転機能を活用することで、人手による作業時間の短縮や燃料費の削減など、業務の効率化を図りました。 なお、樹木や公園管理においても委託に加え、経験豊富な職員のノウハウを活かした直営の管理で効率化を図り、経費削減に努めました。					
	③外部委託契約については、複数業者による見積合わせを実施したうえで契約を結び経費削減に努めました。 また、定期的に施設・備品等の点検・整備を行い、施設環境の充実とサービスの向上に努め、小破修繕においては、職員が修繕することにより、極力外部委託を減らし、経費の削減に努めました。					
	④天候や気温による状況や施設の利用状況を常に把握し、照明やエアコンなど電化製品のこまめなＯＮ，ＯＦＦを徹底し、省エネに努めました。 照明をＬＥＤタイプに交換するなどの節電対策やゴミの分別・リサイクルなどのポスターを掲示し、利用者に協力を呼びかけ、利用者に不快感を与えない範囲での経費削減に努めました。 また、全職員がオフィス環境対策として、昼休みの消灯などによる省エネ・省資源対策にも取り組みました。					
施設所管課コメント	管理状況評価指標全ての実績値が計画値を上回っている。 節電とサービスの質とのバランス感覚を備え、経費削減に努めた。草刈や樹木管理、施設の修繕についても適切な直営作業を行うことにより経費削減と迅速な対応を可能にした。 以上の理由からこの評価とした。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか　＜別紙参照＞				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数（パート数含む）			職員19名、パート・アルバイト44名 勤務計画により配置	職員19名、パート・アルバイト50名 勤務計画により配置	
	管理・運営ミーティングの実施			年12回実施	年48回実施	
	セルフモニタリングの実施			施設担当者毎日・施設責任者週1回 総括責任者月1回	施設担当者毎日・施設責任者週1回 総括責任者月1回	
	健康保険料・各種税金納付率			100%	100%	
	経営収支比率			100%	101.4%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①現在勤務しているスポーツドクター（整形外科医）3名医師による健康相談やメディカルチェックの実施や、健康運動指導士・トレーナースタッフ等と連携し、メディカルフィットネス事業の充実を図りました。 また、熟練職員の専門性やメリットを活かした適材適所の配置を行い、接遇・技術・安全等の各種マニュアルを作成し、安定した管理運営とサービスの提供を行いました。 ②得意分野の施設に職員を配置することで職員の勤労意欲を高め、その適材適所の配置を活かした社内研修（AED操作研修を含む救急対応と救急要請やインストラクタースキルアップなど）を実施するとともに、サイバー攻撃対策研修などの個人情報保護関係、働き方改革などの労務関係の社外研修にも積極的に参加しました。 ③安定した人材を確保するため、職員は年俸制を導入し、健康・労災・雇用などの各種保険の加入や栃木市勤労者福祉サービスセンター「ウェルワーク栃木」への加入補助、資格取得の補助などを行うことにより、勤労意欲や能率の向上を図りました。 職員の専門性向上とキャリア形成支援の一環として、資格取得支援を福利厚生として実施し、勤労意欲および業務効率の向上を図りました。 また、定期的な健康診断と働きやすい職場環境の形成を目的に、労働安全衛生法に基づき、産業医を実施者としたストレスチェックを実施し、職員の心身の健康維持に努めました。 ④⑤税理士・社会保険労務士の指導を得て、財政状況を健全に保ち、各種税金や社会保険料等を適切に納付しました。					
施設所管課コメント	必要な職員数を配置し、適正な管理形態が確保されている。また、スポーツドクターや健康運動指導士・トレーナースタッフ等と配置し、メディカルフィットネス事業の充実を図った。 経常収支比率は100%を上回り、健全な財政状況である。 以上の理由より、この評価とした。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全点検実施回数			年 1 2 回実施	年 1 2 回実施	
	消防防災訓練実施回数			年 2 回実施	年 2 回実施	
	安全講習会開催数			年 3 回開催	年 2 3 回開催	
	個人情報対策講習会開催数			年 1 回開催	年 4 回開催	
	損害賠償保険対応率			1 0 0 %	1 0 0 %	
評価	配点	第 1 次評価（指定管理者評価）			第 2 次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①園内・施設内の安全対策として、防犯カメラによる監視、警察署との連携や各種マニュアルに基づく点検、毎日定時刻に行う巡回等の実施により、事件の未然防止と利用者の安全確保に努めました。					
	また、高木（ケヤキ）が立ち並ぶ中央園路において、強風時に継続的に枯れ枝が落下し、通行者への危険を感じていました。現時点で重大な被害は発生していないものの、今後事故発生リスクが高まると判断し、安全確保のため所管課と協議し伐採を実施しました。					
	②災害等の緊急時に備え、所管課や関係機関と連携した迅速な対応ができるよう危機管理体制を整えました。					
	栃木市総合運動公園は緊急避難場所に指定されているため、災害発生時に市と迅速な連携を図れるような体制づくりにも取り組みました。					
施設所管課コメント	日常的な施設利用者の怪我や病気の発生時には、利用者の安全を最優先に考え、理解を得ながら迅速で適切な対応に努めました。					
	また、消防本部からのドクターヘリの緊急離発着場要請に対しては、迅速に行動し、施設利用者の理解を得ながら、離発着用地の確保に積極的に協力しました。					
	③火災や自然災害などが発生した場合を視野に入れた消防防災計画を作成し、消防署の協力を得ながら年 2 回の消防防災訓練を実施しました。避難・防災訓練同様に消防署の指導を受けながら救命救急講習や、A E D 講習等の職員研修を実施しました。					
	プールにおいては万が一事故が発生した場合に備え、利用者の水難事故を想定した水難救助訓練を実施し、迅速・安全・確実に行動ができるように監視員の強化を図り、利用者の安全確保に努めました					
施設所管課コメント	④個人情報については、個人情報保護の重要性・管理方法を全職員に周知徹底し、適切な運用を行いました。					
	また、利用者等からの個人情報の取得の際には、あらかじめ利用目的をお知らせして、原則として第三者への提供はせず、適切に情報を管理しました。					
	日常の点検や訓練を適切に行っている。特に枯れ枝の落下のリスクがある高木については細心の注意をもって点検し、安全確保のため剪定・伐採を行った。					
	以上の理由から、この評価とした。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	93	92	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和 6年 3月期	令和 7年 3月期	令和 8年 3月期
資産総額	65,026,176	87,730,427	86,953,517
売上高	306,129,407	343,389,254	348,992,643
経常利益	454,775	2,044,400	4,885,270
当期利益	289,375	1,879,000	4,719,870
経常収支比率	100.2%	100.6%	101.4%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和 6年 3月期	令和 7年 3月期	令和 8年 3月期
経常費用	306,645,202	342,485,580	345,807,052
経常収益	307,099,977	344,529,980	350,692,322
経常収支比率	100.15%	100.59%	101.41%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

今年度は夏季の猛暑日が多く、屋外施設はもちろん体育館においても冷房設備が無い
ため、大会主催者が参加者の健康や安全を最優先する観点からキャンセルが増加しました。そ
の結果、有料施設施設の利用者数が昨年度と比し14,566人減少しました。

目標としていた人数には届きませんでしたが、令和8年3月期の法人決算において、経常
利益・経常収支比率ともプラスとなり、健全な財政状況を維持しております。